

保健室

本校は伊豆半島中央部に位置し、伊東に続く亀石峠の途中にある在校生五六名の小規模校です。学区は一名以外は全員バス通学で、学校付近には人家が四、五軒という珍しい環境です。一時在校生二〇〇名を数えた時期があり、施設はすべて整っています。今年の新入生は女子三名で、他の学年は十人前後です。従って保健室に来室する児童は一日一名いるかどうかです。



伊豆の国市立大仁東小学校 養護教諭 杉本 啓子

それは姿勢のこと、鉛筆の持ち方などいろいろです。授業をのぞくと参考になることが沢山あり、例えば三年国語「物語文海の光」は二年の性教育「おへそ」も挑戦し、みんなでジャンプや連続飛びなど少人数旅行です。バスは使えないという状態でした。六年生は教科学習も多いのですが、まだ葦山代官屋敷・鎌倉幕府の見学があります。昨年は昔話の絵で静岡へ、今年はまだ、絵画教室に静岡へ行きます。小さな学校でも行事が多く、毎日のようにどこかの学年が出かけいています。

一週間に一、二度駐車場に市のバスが止まっています。そのたびに保健係の児童に簡便な救急バッグを持たせます。

保護者の関心は高く協力的です。参観日はもとより、奉仕作業は全員参加で校舎周りを一挙に草刈り機できれいにしてくれます。学校保健委員会も全員参加型です。

そんな本校は平成二十一年度に閉校します。

本校は沼津市西部に位置し、北に富士山、愛鷹山の雄大な自然を眺めることができます。南は、交通量の激しい国一バイパスが通り、海に面した東海道線(旧国道)との間に、古くからの居住者、様々な団地の居住者、更に分譲住宅居住者などで構成された校区です。

また、沼津市では平成一七年度から隣接校区制を施行しているため隣接された校区からの入学生が激増し、全校の三割を占めています。三年前から毎年一学級ずつ増え、現在は通常学級9、育成学級4、生徒数三〇一名の学校になりました。

東には、道路一本隔て、



沼津市立今沢中学校 養護教諭 栗田 郁子

小学校が位置し、毎朝小学生と中学生が元気に同じ道を歩き、時には、兄弟で連れ立って登校してくる微笑ましい光景が見られます。

小中の職員が地域の方々との交差点に立ち、パトロールを兼ね登校指導を行いながら、会話が弾みます。

学校・地域が一つになり、ここ今沢の子ども達を見守る力強さや温かさを感じる事ができます。

私は、本校に赴任して四

年目になります。毎年一つ目標をたて、先生方や保健委員の生徒たちと取り組んでいます。そして、できる限り小学校と連携しながら進めていこうと意識しています。中学生が小学校へ

実施してきました。一年目、生徒たちは、かなり緊張して戸惑うことが多かったようですが、小学生的な素直な反応に少し自信が持てたようでした。二年目、三年目、このピア活動を期待して一緒に頑張っていこうと思います。そして、地域への発信、地域力を生かし、子供たちの心身の健やかな成長を保証していきけるように保健室からメッセージを送りたいと思っています。

本年七月には、市の指定により、本校にスクールソーシャルワーカーの派遣が決まり大変心強くなりました。それぞれの立場でいろんな角度から、子供たちを支え、今自分のすべきことは何かを考え、努力していこうと思います。

～次回「学校保健セミナー」のお知らせ～

去る9月29日開催した「学校保健セミナー」には多数の方々にご参加をいただき有難うございました。次回のセミナーは次のとおりです。

【第33回 学校保健セミナー】

- ・期日 21年2月(日は未定)13:30～15:30
- ・会場 静岡市内
- ・講師 寺坂 ^{アイチ} 浜松医療学院学科長
- ・演題 (未定)

講師の寺坂先生は、前々回(第31回)に講演いただいた財団法人日本体育協会公認アスレチックトレーナーで、今回も実技を交えた講演をお願いしましたので、皆様のご参加をお待ちします。詳細についてはおってお知らせします。



げんきな事業所



三井化学ポリウレタン(株) 清水工場

(静岡市清水区駒越北町)

◇ 会社紹介

武田薬品工業(株)として1962年に旧清水市 駒越で化学品生産活動を開始した当事業場は、三井化学(株)との合併による三井武田ケミカル(株)として5年間を経て、2006年4月1日より三井化学(株)全額出資会社、三井化学ポリウレタン(株)清水工場として新たにスタートしました。

三井化学ポリウレタン(株)は、フォーム材料事業(クッション・断熱材料用途)とCASE材料事業(Coating・Adhesive・Sealant・Elastomer)を展開しています。当清水工場はCASE材料製造の主力工場として、生活に密着した塗料・食品包装用接着剤・シーリング材・弾性材料の原料樹脂を生産しています。

また、昨年度から特にCSR (Corporate Social Responsibility)活動を活発化し、経済軸重視から経済軸・環境軸・社会軸の3軸バランスの取れた運営を通じ、地域社会との連携強化に積極的に努めています。

◇ 健康管理体制

社員の高齢化が進んでいる当工場の健康管理・維持・増進は非常に重要なテーマとなっています。気軽にできるストレッチと筋肉トレーニングとして、朝のミーティング前に職場単位で音楽に合わせながらのストレッチを毎日実施しています。一方で、筋肉トレーニングは、運動機器を揃えたトレーニングルームを常時使用できるよう開放してありますが、利用率は低いのが現状です。しかし、雨天時の利用拡大を進める事で利用者数アップを目指しています。

また、日頃の健康維持推進の取り組みとして、産業医による健康講和を開催して、社員の意識改革に努めております。健康講話テーマも「職場のメンタルヘルス」「禁煙について」と社員に関心のあるものを選定し、健康増進に役立つ様快適職場作りを推進しています。一例として「休憩室の分煙化(喫煙エリアの設定)」、「喫煙室の設置」などの対策を順次実施・拡大しております。

さらに、年齢に応じた生活習慣病検診項目による健康診断や法に基づく特殊健康診断を通して、有所見者に対する再検や治癒勧告の指導を看護師が積極的に行っており、再検未検診者『0人』と効果が現れてきました。月1回の産業医による健康相談日を利用する社員の方も増えてきており、自分自身の健高年齢になれば異常値がでるのは当たり前と考える意識を変え、正常値内値が当たり前となるような日常生活の指導強化を予防医学協会と連携を強化し、進めていきたいと考えています。

最後に
今後とも、心と身体の調和を維持できるような環境の良い工場になるよう衛生活動を展開していきます。

安全・環境G 佐藤 隆



ストレッチ体操風景



枠内：清水工場